

## 薬物性肝障害スコアリングシステム -RECAM-J 2023-

---

私たちは 2023 年、欧米で発表された RECAM (Hepatology 2022; 76: 18-31) を日本版に改変し、RECAM-J 2023 を作成しました ([肝臓、2024; 65: 482-490](#))。発症までの期間、肝障害発症後の経過、過去の肝障害の報告、他の原因の除外、その他の 5 つのカテゴリーから構成され、各スコアの合計によって DILI 診断の可能性を評価します。国内症例による検討では「非常に可能性が高い」および「可能性が高い」診断についての AUC は 0.88 と良好でした。ただし、RECAM-J 2023 は DILI を診断するための「診断基準」、すなわち「DILI か DILI でないか」を定性的に判定する基準ではないことに留意してください。また、小児例や慢性肝障害例での DILI にも使用可能ですが、軽症例や漢方による DILI への適合性は低いことにも注意してください。

RECAM-J 2023 は[こちら](#)からダウンロードできますので、ご自由にお使いください。ただし、他の媒体などに使用される場合は日本肝臓学会の手続きに則り転載許諾を申請してください。商用目的の場合は転載料が必要です。

(企画広報委員会薬物性肝障害ワーキンググループ 帝京大学内科 田中 篤)